

## 2015 年度宇宙学・海外派遣プログラム申請書（第 3 期）

平成 年 月 日

### 申 請 者

所属部局・研究科・専攻 学年 \_\_\_\_\_

氏 名 (フリガナ) \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

### 指 導 教 員

所属部局・研究科・専攻 職名 \_\_\_\_\_

氏 名 (フリガナ) \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

1. 渡航目的(会議名 や研究所名など)	****サマースクールへの参加 ( <a href="http://www.****.****">http://www.****.****</a> ) ****の調査
2. 渡航場所(国)	
3. 渡航期間	**年**月**日 ~ **年**月**日
4. 希望援助金額	*****円
(ア) 内訳	航空運賃 ****円(**旅行社見積もり)、 関空までの電車代往復 ****円(**利用)、 例 4830 円(はるか往復利用) 参加登録料 ****円(**通貨単位×為替レート) 例 36000 円(300 米ドル×120 円) 滞在費 ****円
(イ) 他財源からの 援助予定	交通費：〇〇、滞在費：〇〇、講演登録料：〇〇、なし
5. 帯同する教員	なし あり (ありの場合、帯同する教員の名前と期間)

## 6. 渡航の目的・主旨

今回の渡航の主旨(研究会参加の場合は会議名や発表講演タイトル、共同研究の場合は相手とその内容、等)を具体的に述べてください。次に、その学問的内容について、自分の研究成果の意義と今回の渡航の必要性を中心に説明してください。また、宇宙学との関連について、わかりやすく述べて下さい。

## 7. 抱負と期待される成果

今回の渡航を希望する理由、さらにそれが今後の研究においてどのように生かされ発展すると考えられるかについて、自分の抱負を述べてください。

## <記入要項>

1. **渡航目的**は、学会や研究集会・サマースクールなどへの参加の場合はその名称を、共同研究の場合は研究所等の滞在先名を書いて下さい。複数ある場合は、主となる渡航目的の方を記入して下さい。

・国際会議・研究集会への参加の場合、会議の開催地、開催期間がわかるような会議のプログラムやホームページのコピーを参考資料として提出してください。ホームページがある場合は、その URL の記載でも結構です。

4. **希望援助金額**には、「他財源での援助」は含めず、この海外派遣プロジェクトからの援助を希望する金額を記入して下さい。

・この派遣プログラムでの援助額は、上限 30 万円を原則としますが、これ以上の場合は相談して下さい。

(ア)**内訳**には、交通費、滞在費、参加登録料など、渡航に係る費用について記入して下さい。交通費については、金額に加え支払済、見積もりなどを書いてください。

(イ)**他財源からの援助予定**についての欄では、交通費、滞在費、講演登録料の各費目について、他財源への申請状況や費用負担の予定を記入してください。なお、同一費目での他からの援助は受けられませんので、重複がないようご注意ください。

6. **渡航の目的・主旨**、7. **抱負と期待される成果**には、欄内にある記述に注意し、今回の渡航計画について説明して下さい。

・これらの項目について審査委員で審査し、その結果に基づいて採否を決定します。

・長さは 6、7 の項目で **2 ページ以内**とします。図は適宜含めても構いません。また、フォントサイズや行間に変更を加えても構いませんが、長すぎる申請書類や読みにくい申請書類は減点の対象となることがありますので、簡潔にわかりやすく書くよう心掛けて下さい。

## <問い合わせ・応募・書類提出先>

\*\*\*\*\*

\* 応募は、なるべく **電子メール** ([usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp)) で行って下さい \*

\* また、応募の際の件名は「**宇宙学・海外派遣**」として下さい \*

\*\*\*\*\*

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学 宇宙総合学研究ユニット事務局

(京都大学 北部総合教育研究棟 403 号室)

E-mail: [usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp)、Tel: 075-753-9665